

待機児童数の調査結果について

2019年6月10日

日本共産党東京都議会議員団

日本共産党都議団は、東京都の区部と多摩の自治体（23区26市3町1村）での今年4月1日時点の待機児童数の調査を行いました。その結果についてお知らせします。

- ・7日までに20区26市3町1村から回答を得ました（一部のみ回答した自治体も含む）。
- ・国定義の待機児童数が分かったのは20区25市3町1村で、3,378人でした。そのうち区部が1,776人、多摩が1,602人でした。
- ・いわゆる「隠れ待機児童」（区市町村に保育の利用を申し込んでおり、認可保育園等（※）を利用できていないが、国定義の待機児童数に含まれない子ども）の理由別の人数についても調査をしました。人数が分かったのは20区25市3町1村で17,320人、そのうち区部が14,217人、多摩が3,103人でした。
- ・国定義の待機児童数と「隠れ待機児童」の人数を合わせた人数（＝区市町村に保育の利用を申し込んでおり、認可保育園等（※）を利用できていない子どもの人数）は、20区25市3町1村で20,698人、うち区部が15,993人、多摩が4,705人でした。
- ・前年との比較では、国定義の待機児童は20区25市3町1村で1,669人の減、「隠れ待機児童」は887人の増、合計で782人の減でした。
- ・区市町村別の結果は別表1と別表2のとおりです。

※認可保育園、認定こども園、地域型保育事業（小規模保育など）。

以上